

国立病院機構熊本医療センター

# くまびょうNEWS



笑顔満開 ～心に花咲く明るい未来へ～

【特集】

第 21 回  
花粋祭を開催しました

- VOICE
- 医学シリーズ 泌尿器科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、  
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター  
地域医療連携センター長  
菊川 浩明



096-353-6565  
096-353-6566

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人国立病院機構  
熊本医療センター  
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

# 花粋祭を開催しました

## 「第21回 花粋祭を開催しました」



第21回「花粋祭」を10月8日(金)に、熊本医療センター研修センターホールで開催しました。

昨年から引き続き本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1日限りに縮小した開催となりましたが、熊本医療センターの職員の皆様に参加していただくことができました。

特別講演では、「新型コロナウイルス感染症の看護職の活動」について学び、看護師を目指す者として何ができるかを考える機会となりました。また、健康教室、ステージ発表、模擬店、生け花体験など、参加していただいた皆さんも学生も笑顔で過ごすことができた1日でした。

来年の花粋祭は、地域の皆様に参加していただける明るい未来となるよう心から願っています。



たかき かすみ  
教員 高木 佳寿美



## 「花粋祭をとおして」

花粋祭実行委員 1年 宮部 陽花

今年度の花粋祭のテーマは「笑顔満開～心に花咲く明るい未来へ」でした。新型コロナウイルス感染症の影響で自粛生活が続く、人との交流も少なくなっていることから、笑顔で過ごせる未来への願いを込めてテーマを決定しました。

当日は、多くの病院職員の皆さんに会場へ来ていただき、縮小であっても開催できたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

そして花粋祭をとおして、一つのことを仲間と協力してやり遂げることのすばらしさを実感しました。これからの実習や学校生活の中でも、協力することや人とのつながりを大切にしていきたいと思います。





# VOICE

## 登録医の声



国立病院機構  
熊本南病院

ながくら しょういち  
院長 長倉 祥一



### ◆貴院のアピールをお願いします

令和2年度から熊本南病院の院長を務めております長倉です。熊本南病院と言ってもどこにあるかご存じない方が多いと思います。よく南熊本病院と間違える方がいらっしゃいますが宇城市にあります。神経難病や結核と言った政策医療に力を入れています。また2016年からは緩和病棟も開設しており待機なく受け入れています。感染症指定は取っていませんが、今後さらに力を入れています。一般150床（うち60床が神経難病、16床が緩和、10床（現在は休床中）が地域包括病床）、結核22床で運用しています。

### ◆先生の趣味を教えてください

特にありません。熊本医療センターに在籍していた頃はルネサンスに通ってテニスをしていましたが、最近はできていません。本も読みたいのですが、もっぱらAudibleで通勤途中に聞いている程度です。休日にアマゾンプライムビデオやJCOM、Netflixを観るのが最近の楽しみです。

### ◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

熊本医療センターの先生方にはいつもお世話になっております。患者さまをお願いすると、いつも快く受けいただき感謝しております。常勤医師が14名ほどしかいませんので夜間の救急は熊本医療センターに頼りっきりです。落ち着いたらすぐ引き受けますのでよろしくお願い致します。



### 【診療科目】

脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、代謝内科、循環器内科、血液内科、膠原病内科、外科、呼吸器外科、麻酔科、整形外科、総合診療科

### 【診療受付時間】

月～金 8:30～11:00（診療17:15迄）

### 【休診日】

土・日・祝日・年末年始

### 【住所】

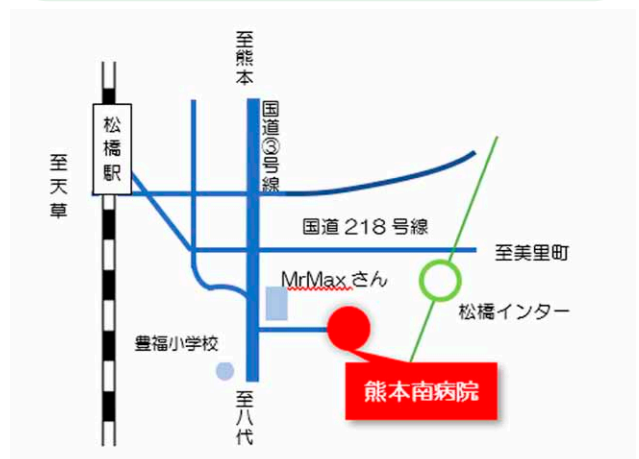
〒869-0593 宇城市松橋町豊福2338

### 【TEL】

0964-32-0826

### 【FAX】

0964-33-3207



最近のトピックス

夜間頻尿について

国立病院機構熊本医療センター  
泌尿器科医師

やまなか たつろう  
山中 達郎



・夜間頻尿とは

日本排尿機能学会によると40歳以上の日本人の中で夜間頻尿を認める方はなんと約「4500万人」以上とされています。

夜間頻尿とは「入眠中に排尿のために1回以上起きなければならない状態」と定義されており、下部尿路症状(LUTS)を持つ患者さまの中で**最も困る症状**として挙げられるのが、この**夜間頻尿**です。

「夜間排尿2回が治療の分かれ目」

報告によると**2回以上の夜間排尿を必要とする高齢者は1回以下の夜間排尿の高齢者と比較して有意に骨折及び死亡率が高かった**というデータ(表1)があります。その他にも睡眠障害・QOLに関する複数の研究からも夜間頻尿が深刻な影響を持つのは、夜間排尿が2回以上からというデータが示されています。つまり、治療により夜間排尿を2回未満にすることができれば、死亡率や骨折リスクを下げる可能性があるため、**夜間排尿2回以上が治療の分かれ目**という考えも出来るとも考えられています。

しかし、年齢や性別、ライフスタイルなどによって夜間頻尿の生活に対する影響は異なるとされています。例えば1回だけ夜間に起きたとしても生活に支障が出ていると患者さま本人が思うなら、治療を一考する価値はあると思います。

「原因と治療」

夜間頻尿の原因は多岐にわたり、前立腺肥大症や過活動膀胱といった器質的要因やアルコール摂取などの生活的要因、血圧降下剤などの使用による薬剤的要因、加齢などによる抗利尿ホルモンの低下や水の過剰摂取による夜間多尿が主にあげられます。泌尿器科では患者さまに排尿日誌を記入していただき、それに基づき原因を精査し、行動療法や薬物療法、場合によっては手術まで含めた包括的な治療を行っております。

また、最近では上記した**夜間多尿(表2)**が大きなトピックスとなっており、その治療薬である**デスマプレシン(抗利尿ホルモン)**は、2019年に男性における夜間頻尿に対して保険収載され、2020年に改定された「夜間頻尿診療ガイドライン」でも推奨 Grade A とその有用性が報告されています。しかし、使用にはいくつかの投与基準があるため、まずは泌尿器科専門医にて処方を開始し、症状や状態が安定次第、紹介元の先生での処方をお願いするという形をとっております。

高齢化の進む本邦において夜間頻尿をはじめとする排尿障害は今後大きな問題になっていくと思われます。上記したように排尿障害は患者さまのQOLを著しく損なう可能性もあり、難治性の排尿障害においては専門医へのご紹介をご検討いただけますと幸甚です。

夜間頻尿の有無別の5年間の骨折による入院

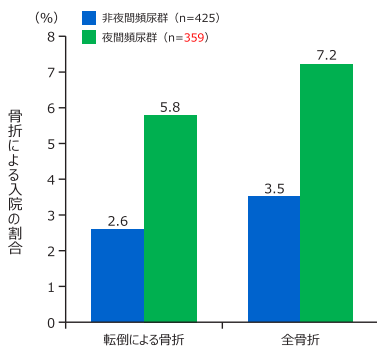


表 1

夜間頻尿の有無別の5年間の生存率

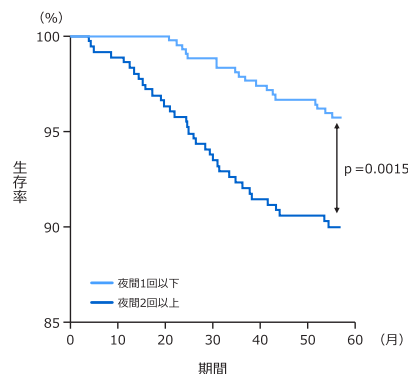


表 2

夜間多尿の診断基準

- 夜間尿量が 10ml/kg 以上
- 夜間尿量が 90ml/時間 以上
- 夜間多尿指数 (夜間尿量/24時間尿量) が65歳以上で33%以上 65歳未満で20%以上

Nakagawa H et al. J Urol. 2010; 184: 1413-1418.

## 若手医師フォーラム最優秀賞受診について

初期臨床研修医 2年

とりす みき  
鳥巢 美貴



2021年10月22日に行われた国立病院総合医学会若手医師フォーラムでの発表で最優秀賞をいただきました。

若手医師フォーラムは国立病院機構に所属する若手医師が症例報告や臨床研究を英語で発表する場として2013年から開催されています。今回、診断に至らずに同様の症状で頻回受診していた急性一酸化炭素中毒の症例を救急外来で経験し、同様な症例15症例の検討を発表させていただきました。

英語での学会発表ということでものすごく緊張しましたが、他の参加者の発表から刺激を受けたり、自分の英語力を痛感できたりと、とても良い機会になりました。発表をしてみないかとお誘いくださった臨床研究部長の富田正郎先生をはじめ、救命救急部長櫻井聖大先生、総合診療科國友耕太郎先生、副臨床検査技師長早川敏郎さん、そのほかにも諸先生方からたくさんのご協力、ご指導をいただきました。心からお礼申し上げます。今後も臨床研究や英語の学会活動にも関わっていかれたらと思います。

### 10/1 (金) 「患者図書室でのインターネットご利用について」 事

【筆者】患者図書室：志水 裕二



令和3年10月1日から当院の患者図書室において、医療情報の検索や閲覧を目的としてインターネットが使用出来るパソコンを設置しました。

ご利用時間は平日10時30分から17時です。

1回につき30分間のご利用となりますが、ご自由に病気や治療についてお調べください。

なお、娯楽視聴やメール受信などの個人的利用はできませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用の際はお気軽に図書係にお申し付けください。

【場所】患者図書室



### 10/23 (土) 「第3回熊本県緩和ケアパネル展」に参加しました。 看

【筆者】がん看護専門看護師：方尾 志津



第3回熊本県緩和ケアパネル展に参加しました。下通りアーケードで開催されたこのパネル展は、一般市民の方に「緩和ケア」を広く正しく知ってもらうことが

目的であり、当院も緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緊急緩和ケア病床について紹介いたしました。通行中の方が、パネルに足をとめ、

資料を手に取っていただきました。最後になりましたが、地域医療機関のみならず、皆さまに支えられて活動する当院緩和ケアチーム、緩和ケア外来をよろしく願います。

【場所】下通りアーケード





# 研修医レポート

## 臨床研修医

何 逸美  
か いつみ



こんにちは。研修医1年目の何逸美と申します。この春に佐賀大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修が始まって早6か月が経とうとしています。何事もが未熟な私ですが、スタッフの方々に日々助けていただき何とか研修生活を送ることができています。

私の研修生活は神経内科からのスタートとなりました。はじめは、電子カルテやオーダーの使い方等を覚えることで精一杯でした。医師として働くにあたっては、医学の知識・手技を身に付けるだけでなく、臨床に必要な様々な技能が必要なのだなと痛感いたしました。神経内科では救急外来を受診された患者

さまざま含め、色々な背景の方を診させていただきました。はじめは右も左もわからなかった私ですが、幸い指導医の先生方をはじめとした病棟のスタッフのご指導やサポートを受け、患者さまの診察・治療に加勢させていただいております。働き出してみえる景色というのは、学生時代の実習とは当然異なり、毎日新たな刺激を受けることで非常に楽しく充実した研修生活を送っております。これも日ごろ支えてくださるスタッフのおかげであり、恵まれた環境で研修できることを今更ながら非常に嬉しく思っています。

また、各科での研修と並んで、救急外来での当直業務も行っています。こちらは救急車の対応が主な業務なのですが、通常の業務とは診療する患者さまの性質も、働く環境や空気も大きく異なります。これは忙しさや緊張感も感じる現場ではありますがやりがいも感じております。

慌たしい毎日ではありますが、充実した日々を過ごさせていただいております。毎日少しずつ前進し、早く一人前になれるよう励みますのでこれからもどうぞよろしく願いいたします。

## 臨床研修医

木山 武大  
きやま たけひろ



こんにちは。研修医1年目の木山武大と申します。熊本大学を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修医として勤務しております。私は高校までは長崎で、大学から熊本で過ごしました。大学から来た熊本という地にすっかり魅了され、熊本での勤務を決めました。初めはわからないことだらけでしたが、毎日多くのことを学ばせていただき、少しずつ成長を感じる日々です。

私の研修医としての第一歩は循環器内科から始まりました。はじめはカルテの書き方もろくにわからず、何から何まで指導医の先生や先輩方に教えていただきながら業務に慣れていくと

ころから始まりました。当院のスタッフの方はとても優しいばかりで、非常にいい雰囲気の中、働いていると大変感謝しております。循環器内科では、心電図、心エコー、循環器の薬剤の使い分けを学ばせていただくとともに、心筋梗塞など、目の前で生命の危機に瀕した患者さまを救い、その後の社会復帰に携わるという大きな達成感を感じさせていただきました。

その後、外科での研修もさせていただきました。毎日様々な手術を行っており、多くの手術に参加させていただき充実した研修を送りました。手術中も先生方は、解剖や手術の利点など丁寧に教えてくださり、勉強になると同時に、もっと自分でも勉強しなければならぬと痛感する日々でもありました。

そして、いつの間にか当院での研修も6か月が経ち、2年目の先輩方と過ごす時間も残り半分となりました。来年度、自分自身が先輩方のようになれているか不安もありますが、少しでも成長し、来年度入職する研修医にとって、今の先輩方のように頼れる存在になれるよう励みたいと思います。

## 基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、  
良質で安全な医療を目指します。

## 運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

## 患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

## 2021年12月研修のご案内

### 二の丸モーニングセミナー

日時▶12月2・9・16・23日(木) 8:15~8:45  
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

### 第161回公開看護セミナー

日時▶12月4日(土) 13:00~15:30  
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「口から食べるをサポートする包括的スキル-KTバランスチャート使用のススメ」

NPO法人 口から食べる幸せを守る会 理事長 小山珠美 先生

### 第47回 診断と治療—最新の基礎公開講座—

[日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶12月11日(土) 15:00~17:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

テーマ「頭痛の診断と治療」

座長 熊本大学病院脳神経外科准教授

浜崎禎 先生

〈講演1〉脳神経内科領域の頭痛

国立病院機構熊本医療センター脳神経内科副部長

小阪崇幸

〈講演2〉脳神経外科領域の頭痛

国立病院機構熊本医療センター脳神経外科部長

中川隆志

〈講演3〉片頭痛の診断と治療

桜木頭痛クリニック院長

後藤俊臣 先生

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止や延期にさせていただきます。  
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら  
国立病院機構熊本医療センター  
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター  
QRコード▶





患者さまをお待たせしないために

# ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565  
096-353-6566

FAX  
096-353-6563



国立病院機構  
熊本医療センター  
地域医療連携センター長  
菊川 浩明

## 令和3年12月外来担当医名簿

## 国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 大村 和寛(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏			小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	松山 太一 馬見塚 大悟	松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 志茂田 美紀	石井 将太郎 松田 暖
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀 松田 暖	中田 成紀 松山 太一 馬見塚 大悟 松田 暖	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 志茂田 美紀 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 馬見塚 大悟	松山 太一 志茂田 美紀	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 日下 裕章(新患) 木村 優一(新患)	田山 信至 野津原 淳(隔週 新患) 長倉 拓究(隔週 新患)	松原 純一(新患) 日下 裕章	藤本 和輝(新患) 野津原 淳 長倉 拓究 白尾 友宏	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	森並 次朗 荻野 肅	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之	西村 円香	水上 智之	水上 智之	山下 貴大	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		山下 貴大		右田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科		宮田 辰徳 藤川 和晃	水元 孝郎 井上 光弘	野元 大地	宮成 信友 光弘	久保田 竜生	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	宮崎 愛里 大塚 忠弘	中川 隆志	齊藤 大嗣 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸			
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		坂本 佳菜子 高木 寛		中馬 東彦 高島 佑輔	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鯨島 智洋 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	市村 知佳	西 葉月	中嶋 仁美	
	再診 (その他 初診)	城野 剛充 市村 知佳	牧野 公治 西 葉月	市村 知佳 中嶋 仁美	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 中嶋 仁美	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 担当医 (紹介のみ)		手術日	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也	
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、山口 晃世					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		休診		(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 森 久美子 谷口 広祐(隔週) 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈(隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈	
	救命救急センター	櫻井 聖大、橋本 聡、山田 周、深水 浩之					
看護外来	ストーマ	國友 耕太郎		木村 文彦		宮内 大介	
	がん看護	専門看護師(午前)	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	専門看護師(午後)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師	
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R3/12/1